

開催	番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父母父系統	母父	母父の系統	祖母父系統
2020	13	デアリングタクト	1	1.4	21	エビファネイア	ロベルト系	Tサンデー系	キングカメハメハ	キングマンボ系	サンデーS
稍重	12	マジックキャッスル	10	56.9	5	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	シンボリクリスエス	ロベルト系	フェアリーキング系
59.4/61.2	8	ソフトフルート	9	54.7	3	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Kingmambo	キングマンボ系	ストームバード系
開催	番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父母父系統	母父	母父の系統	祖母父系統
2019	5	クロノジェネシス	4	6.9	21	バゴ	ブラッシングG系	スレイエフ系	クロフネ	ヴァイスR系	サンデーS
稍重	8	カレンブーケドール	2	5.6	5	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Scat Daddy	ストームバード系	ゴーンウエスト系
58.3/61.6	14	シゲルピンクダイヤ	10	27.0	4	ダイワメジャー	Pサンデー系	ノーザンテースト	High Chaparral	サドラーズ系	ダンテヒ系
開催	番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父母父系統	母父	母父の系統	祖母父系統
2018	11	アーモンドアイ	1	1.3	21	ロードカナロア	キングマンボ系	ストームバード系	サンデーS		スレイエフ系
良	13	ミッキーチャーム	5	15.6	10	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Dansill	デインヒル系	ファラリス系
59.6/58.9	2	カンタービレ	3	14.0	4	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Galileo	サドラーズ系	ノーザンD系
開催	番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父母父系統	母父	母父の系統	祖母父系統
2017	14	ディアドラ	3	6.3	5	ハービンジャー	デインヒル系	ネイティヴD系	スペシャルウィーク	Tサンデー系	ミスプロ系
重	7	リスグラシュー	4	7.0	4	ハーツクライ	Tサンデー系	グレイS系	American Post	ネイティヴD系	ネヴァーB系
59.1/61.1	4	モズカッチャン	5	8.6	4	ハービンジャー	デインヒル系	ネイティヴD系	キングカメハメハ	キングマンボ系	ストームバード系
開催	番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父母父系統	母父	母父の系統	祖母父系統
2016	7	ヴィブロス	3	6.3	5	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Machiavellian	ミスプロ系	スレイエフ系
良	3	パールコード	4	13.7	5	ヴィクトワールピサ	Tサンデー系	ミスプロ系	Lost Code	リボー系	ファラリス系
59.9/58.7	15	カイザーバル	8	21.2	4	エンパイアメーカー	ファビアノ系	ノーザンD系	サンデーS		ニジンスキー系
開催	番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父母父系統	母父	母父の系統	祖母父系統
2015	18	ミッキークイーン	1	3.0	4	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Gold Away	スレイエフ系	ミスプロ系
良	9	クイーンズリング	5	14.9	4	マンハッタンカフェ	Tサンデー系	リボー系	Anabaa	ダンテヒ系	ネイティヴD系
57.4/59.5	6	マキシマムバリ	8	30.7	4	キングカメハメハ	キングマンボ系	ノーザンD系	サンデーS		グレイS系
開催	番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父母父系統	母父	母父の系統	祖母父系統
2014	6	ショウナンパンドラ	3	10.1	5	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	フレンチデピュティ	ヴァイスR系	ファイントップ系
良	4	ヌーヴォレコルト	1	1.5	4	ハーツクライ	Tサンデー系	グレイS系	スピニングワールド	スレイエフ系	ダンテヒ系
58.0/59.0	12	タガノエトワール	4	17.9	4	キングカメハメハ	キングマンボ系	ノーザンD系	サンデーS		グレイS系
開催	番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父母父系統	母父	母父の系統	祖母父系統
2013	16	メイショウマンボ	3	5.2	4	スズカマンボ	Dサンデー系	キングマンボ系	グラスワンダー	ロベルト系	ミスプロ系
良	1	スマートレイアー	2	3.5	3	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	ホワイتمズル	リファール系	ブラッシングG系
58.9/59.7	13	リラコサージュ	15	131.6	4	ブライアンスタイム	ロベルト系	リボー系	Kingmambo	キングマンボ系	ヘイロー系

内回りコースの2000mで行われるG1レースなので、スローペースの瞬発戦にはなりづらく、持続戦か消耗戦になりやすいレース。

注目血統は欧州型ノーザンダンサー系。父(父母父)か母父に欧州型ND系を持つ馬に注目です。

人気薄で馬券に絡むのは「父か母父がキングマンボ系」

苦戦しているのは「母父米国型」で、過去8回で馬券に絡んだのは3頭しか居りません。

開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順	
2020	13	デアリングタクト	4	480	1	1.4	21	2.00.6	13	13	8	5	35.8	2	G1	東京	芝	2400	良	1	1	追込	1
稍重	12	マジックキャッスル	7	432	10	56.9	5	2.00.8	11	11	11	13	35.8	2	G3	中山	芝	2000	稍重	6	4	差し	2
59.4/61.2	8	ソフトフルート	9	470	9	54.7	3	2.00.9	18	18	18	12	35.7	1	2勝	中京	芝	2000	良	1	1	差し	1
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順	
2019	5	クロノジェネシス	6	452	4	6.9	21	1.59.9	6	7	5	5	36.1	2	G1	東京	芝	2400	良	2	3	差し	7
稍重	8	カレンブーケドール	7	464	2	5.6	5	2.00.2	6	8	8	7	36.2	4	G3	中山	芝	2000	良	1	3	先行	7
58.3/61.6	14	シゲルピンクダイヤ	6	464	10	27.0	4	2.00.4	14	14	14	11	35.6	1	G2	阪神	芝	1800	良	4	4	差し	2
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順	
2018	11	アーモンドアイ	5	480	1	1.3	21	1.58.5	11	11	11	12	33.6	1	G1	東京	芝	2400	良	1	1	差し	1
良	13	ミッキーチャーム	6	452	5	15.6	10	1.58.7	1	1	1	1	35.4	12	2勝	札幌	芝	1800	良	1	1	逃げ	2
59.6/58.9	2	カンタービレ	6	434	3	14.0	4	1.58.9	11	12	13	12	33.9	3	G2	阪神	芝	1800	良	5	1	先行	4
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順	
2017	14	ディアドラ	13	490	3	6.3	5	2.00.2	14	15	13	9	35.7	1	G3	中山	芝	2000	良	1	1	差し	3
重	7	リスグラシュー	8	438	4	7.0	4	2.00.4	12	11	9	6	36.2	2	G2	阪神	芝	1800	良	3	3	追込	3
59.1/61.1	4	モズカッチャン	7	478	5	8.6	4	2.00.4	5	5	4	2	36.6	3	G2	阪神	芝	1800	良	2	7	中団	8
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順	
2016	7	ヴィブロス	6	414	3	6.3	5	1.58.6	9	9	8	8	33.4	1	G3	中山	芝	2000	良	3	2	差し	2
良	3	パールコード	5	508	4	13.7	5	1.58.7	7	5	7	6	33.8	6	G3	中山	芝	2000	良	2	5	中団	7
59.9/58.7	15	カイザーパル	8	470	8	21.2	4	1.58.8	7	5	5	5	34.1	9	G2	阪神	芝	1800	重	6	3	先行	2
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順	
2015	18	ミッキークイーン	6	434	1	3.0	4	1.56.9	8	8	8	6	34.6	4	G2	阪神	芝	1800	良	1	2	追込	1
良	9	クイーンズリング	6	458	5	14.9	4	1.56.9	12	13	14	14	34.1	1	G2	阪神	芝	1800	良	5	5	中団	6
57.4/59.5	6	マキシマムバリ	8	460	8	30.7	4	1.57.1	5	6	5	3	35.0	9	1勝	阪神	芝	2200	良	1	1	先行	1
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順	
2014	6	ショウナンパンドラ	8	440	3	10.1	5	1.57.0	9	9	9	5	34.3	3	OP	新潟	芝	2000	不良	1	2	差し	2
良	4	ヌーヴォレコルト	7	448	1	1.5	4	1.57.0	11	11	11	10	34.0	2	G2	阪神	芝	1800	良	2	1	先行	2
58.0/59.0	12	タグノエトワール	4	442	4	17.9	4	1.57.2	10	10	10	8	34.4	4	G2	阪神	芝	1800	良	15	2	差し	1
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順	
2013	16	メイショウマンボ	8	488	3	5.2	4	1.58.6	11	11	8	8	34.2	5	G2	阪神	芝	1800	重	4	4	差し	3
良	1	スマートレイアー	4	466	2	3.5	3	1.58.8	17	17	16	14	34.0	2	2勝	阪神	芝	1800	良	1	1	差し	1
58.9/59.7	13	リラコサージュ	8	414	15	131.6	4	1.58.8	10	10	11	11	34.1	4	G2	阪神	芝	1800	重	12	18	中団	18

内回りコースながら、ほとんど前残りが発生しておりません。
前走脚質についても同様で、前走で前に行っていた馬の
馬券絡みは過去8年で6頭のみ。

秋華賞本番では、上り3Fタイム順位が5位以内だった馬が
20頭馬券に絡んでおり、末脚の要求度が高いレースである事を示しております。

ただ、33秒台の上りが出たのは、スローペースになった2016年と、
弱持続ラップとなった2018年の2回だけで、持続戦や消耗戦で
メンバー上位の末脚を使える「差し・追込み馬」が優勢なレースと考えられます。

だからこそ、欧州血統が重要になるのが秋華賞と言うレースでございましょう。

臨戦過程は、京都開催の直近3年では、オークスからの直行組が優勝。
オークスで2人気以内か3着以内だった馬の直行ローテは侮れません。

また、紫苑SがG3昇格した16年以降は、紫苑S組がローズS組よりも
先着を果たし続け、紫苑S5着以内馬に注目したいと思います。

馬名	父	父系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父
エミュー	ハービンジャー	デインヒル系	ネイティヴD系	スペシャルウィーク	Tサンデー系	ゴーンウエスト系
キタウイング	ダノンバラード	ディーブ系	ファピアノ系	アイルハヴアナザー	フォーティーン系	ニジンスキー系
グランベルナデット	キズナ	ディーブ系	ストームバード系	Wilburn	APインディ系	ストームバード系
コナコースト	キタサンブラック	Tサンデー系	プリンスリーG系	キングカメハメハ	キングマンボ系	ヴァイスR系
コンクシェル	キズナ	ディーブ系	ストームバード系	Galileo	サドラーズ系	ミスプロ系
ソレイユヴィータ	スクリーンヒーロー	ロベルト系	サンデーサイレンス	カーネギー	サドラーズ系	ニジンスキー系
ドウアイズ	ルーラーシップ	キングマンボ系	グレイS系	ディーブインパクト	ディーブ系	ダンチヒ系
ドゥーラ	ドゥラメンテ	キングマンボ系	サンデーサイレンス	キングヘイロー	リファール系	Tサンデー系
ハーバー	ハーツクライ	Tサンデー系	グレイS系	Jump Start	APインディ系	ミスプロ系
ヒップホップソウル	キタサンブラック	Tサンデー系	プリンスリーG系	ファルブラヴ	フェアリーキング系	サンデーサイレンス
ピピオラ	モーリス	ロベルト系	サドラーズ系	ダンスインザダーク	Tサンデー系	デインヒル系
フェステスバント	キズナ	ディーブ系	ストームバード系	Lord of England	ネヴァーB系	ニジンスキー系
マスクディーヴァ	ルーラーシップ	キングマンボ系	グレイS系	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系
マラキナイア	ジャスタウェイ	Pサンデー系	ニアークティック系	キングカメハメハ	キングマンボ系	ロベルト系
ミシシピテソーロ	ダノンバラード	ディーブ系	ファピアノ系	A.P. Indy	APインディ系	デインヒル系
モリアーナ	エピファネイア	ロベルト系	Tサンデー系	ダイワメジャー	Pサンデー系	ダンチヒ系
ラヴェル	キタサンブラック	Tサンデー系	プリンスリーG系	ダイワメジャー	Pサンデー系	ヴァイスR系
リバティア일랜드	ドゥラメンテ	キングマンボ系	サンデーサイレンス	All American	ロベルト系	ゴーンウエスト系

今週末の京都競馬場は、雨の予報が出ております。
路盤が硬いので、少々の雨なら影響は小さいと思われませんが、
予報通り土曜日の夕方から降り始めるようなら、欧州血統を
重視する方向で考えております。

・エミュー

ハービンジャーは京都2000mで最も期待値が高い種牡馬。
過去5年の成績は・・・
【14・13・16・63/106】
勝率13.2% 単回率175%
複率40.6% 複回率122%
(牝馬に限れば、複率42.1% 複回率196%)
これはディーブインパクトよりもコース適性が高い
種牡馬である事を示しております。

血統面は文句なしですが、前走の紫苑Sを見る限り
2000mでも長いようなジリ脚でした。

他馬がみなバテるような削りあいの馬場や展開なら
平坦コースの恩恵でギリギリ持つかもしれませんが、
ちょっと「これが注目穴馬ですわ！」と言う訳には参りません。

・キタウイング

ダノンバラードはディーブ系種牡馬ですが、京都適性が低く、
父母父、母父ともに米国型。血統評価はかなり低くなります。
牝系ファミリーが短距離指向と言うのも気になる所。
実績的にも評価に値するところがわずかで、
ここでは手を出しづらい印象です。

・グランベルナデット

キズナは当コースで非常に期待値が高い種牡馬。
母系は米国型の持続力血統で固められており、
末脚の要求度が高い秋華賞では後続に飲み込まれそう。

紫苑Sで1人に支持された馬ですので、
軽視は禁物かも知れませんが、他に買いたい馬もあり、
なおかつ、リバティア일랜드を買うしかないとなれば、
来たらごめんなさい(*_*)でバツサリと行く予定。

・コナコースト

キタサンブラックの代表産駒には、小回り・内回りが得意な産駒が多く、有馬記念、宝塚記念を勝ったイクイノックスや、皐月賞馬ソールオリエンス、ダート重賞活躍馬ウイルソソテソーロなどが出ております。

また、父か母父にキングマンボ系を持つ馬が人気以上に走る傾向があるレースだけに、ND系の血が薄い事以外に突っつくべき重箱の隅は見当たりません。

前走のオークスでは、スタートで他馬と衝突する不利で後方からの競馬となりましたが、直線だけで7着まで追い上げておりまだ底を見せたとは言えないと考えております。

持続戦の桜花賞で、先行して2着に踏ん張った底力は、決して侮れないものであり、内回りコース替わりは追い風でございましょう。

前目のポジションで競馬しても、残せる可能性が高い馬だと考えております。

・コンクシェル

好走血統のキズナ産駒で、母父が欧サドラーズ系。祖母父が欧ミスプロ系マキャベリアン。ディーブとマキャベリアンを持つ配合馬に16年の優勝馬ヴィブロスがおりますな。

前走のローズSは落鉄が主な敗因。

血統構成は申し分なく、前走の敗戦にも理由がありますが、母系が短距離系ですので、2000mへの延長が鍵になりそう。

それでも血統屋としては押さえるしかないと判断します。

・ソレイユヴィータ

父スクリーンヒーローに母父カーネギー(欧サドラーズ系)の配合馬にはモーリスがおりますが、血縁関係はございません。

ただ、残念なことに、スクリーンヒーロー産駒は当コースに相性が悪く、非常に回収期待値が低い血統ですな。

この馬自身、「小回りの1800m」でマイ注目馬に登録中で、前走の紫苑Sでも4角辺りで早々に手ごたえが怪しくなったの惨敗。

半兄のメイショウナルトが小倉や福島の2000m重賞勝ち馬で、牝馬である分、この馬の距離適性は1800mに出ているのでは？

ここでは静観を決め込んでおります。

・ドウアイズ

父キングマンボ系に母父ディーブインパクト。秋華賞の好走血統を組み合わせた配合でございます。

祖母が英国のオークス3着馬という事で、オークスでは警戒しておりましたが、スタンド前発走で歓声に驚き、入れ込んだために凡走。距離適性がどうなのかは不明のまま終わってしまいました。

いまだ1勝馬ではございますが、血統構成からは消す訳にも行かず...出て来るなあー！と思っていた1頭。

・ドゥーラ

父ドゥラメンテに母父が欧ND系キングヘイロー。祖母父がステイゴールドで、持久力と末脚を要求されるような

中距離競馬に適性の高い配合馬でございます。

マイル路線では活躍できませんでしたが、
中距離路線では世代上位の力を持っている事は明らか。

札幌で見せるような、早目に捲る競馬が出来れば上位争いであります。

・ハーパー

父ハーツクライ、母父祖母父共に**米国型**持続力血統。

これまでの競馬を見る限り、
メンバー上位の末脚を発揮するタイプではなく、
持続力を活かした競馬の方が向いていそう。

また、凱旋門賞騎乗の為に、フランスに帰国していた
ルメールJが、最終追い切りに騎乗できておらず、
放牧からの帰厩後に一度も馬を見ていないと言う
G1レースでは珍しい事態となっており、陣営との間に
噂になる程の不協和音が発生しているとか。

リバティアランドを馬券に入れるからには、
この馬まで印を回すと回収がおぼつかず、消えるリスクが
少なからずある(個人の感想です)今回は無印の予定です。

・ヒップホップソウル

父キタサンブラック、母父ファルブラブ(欧ND系)、
祖母はダンスインザダーク・ダンスパートナーの全妹。
母の半妹カイザーバルは秋華賞3着馬。

母父ファルブラブは、2000m以下の持久力勝負に強い
フェアリーキング(サドラーズウェルズの全弟)の産駒。

紫苑Sは「超差し有利馬場」で差し有利な消耗戦を先行して2着。
先行馬が総崩れとなった中での2着は、勝ち馬以上に強い競馬でした。

オークスは距離が長く、直線半ばの坂に削られ失速しましたが、
キタサンブラック産駒は内回りコースに適性が高く、
距離短縮と内回りは、この馬にとって大きなプラス材料。

初めての長距離輸送が鍵になりますが、
今回の関東厩舎の中では、最も西遠征に実績のある
木村厩舎の管理馬であり、「関東馬だから割引き」
という必要はないと思います。

当日の気配次第にはなりますが、
厚めに買いたいと考えております。

・ピピオラ

父はモーリス(欧ロベルト系)、
母父ダンスインザダーク(Tサンデー系)。
祖母父デインヒル(欧ダンチヒ系)
曾祖母はディーブの母ウインドインハーヘア。
つまり、祖母はディーブインパクトの半姉でございますな。
従兄弟にアドマイヤミヤビ(オークス3着・G3クイーンC1着)と
ルフトシュトローム(G2NZT1着)

能力的に足りるかどうかわかりませんが、前走の勝ち時計と着差から微妙ですが、
春以降に急成長しての3連勝と、それが全て持続戦で上り3位以内の
末脚を使っていた点は魅力に感じます。
上質な牝系出身馬でもあり、無印にするには怖い存在でございます。

・フェステスバント

キズナ×欧ネヴァーヴェンド系×欧ニジンスキー系の配合馬。
雨馬場に強い配合で、母は独オクス馬(2200m)。

前走は2勝クラスを先行して上り最速勝ちし、タイムも基準タイム以下で、「前走条件戦組」の馬券絡みパターンに一応は該当しております。
(※前有利馬場でしたが)

日曜の京都は雨の予報は出ておりますが、
路盤が硬く、午後から晴れる見込みですので、
この馬に向く程の馬場が出現するかどうか？

また、ドイツ血統馬ですから外回りコースの方が良さそうで、
さらに、キズナの牝駒が非根幹距離適性が高い事も考えますと、
秋華賞がベストな舞台とは思えない印象でございます。
拙者の妄想ですが、この馬には「雨馬場の外回り非根幹距離」が
最適なコースだと考えます。

ただ、最内枠に入り、逃げ残りもあり得ますので、
一応押さえておいた方が良いかも知れません。

・マスクディーヴァ

父ルーラーシップ(欧キングマンボ系)
母父ディーブインパクト、祖母父欧リファール系
母も祖母も末脚が切れるタイプで、この馬は父よりも
母方の個性をより色濃く受け継いだように見受けられます。

ただ、そうすると・・・

距離適性とコース適性の問題が浮上して参りますな。

基本的に1400mがベターな牝系ファミリーで、
距離が1F延びるごとに、その複勝率が低下致します。
また、内回りの2000mには相性最悪な一族で
その成績は壊滅的なものとなっております。

血統の字面は、キングマンボ系×ディーブインパクトと
秋華賞の好走血統同士の配合ですので、つい買いたくなりますが、
外回りコースの1800で圧倒的なパフォーマンスを見せた事が、
秋華賞への適性を疑いたくなる最大の要因でございます。

あまり買いたくない存在なので、
妙なところでルーラーシップの血が目覚めぬ事を
切に願うところでございます。

・マラキナイア

父ジャスタウェイ(Pサンデー系)、
母父キングカメハメハ(欧キングマンボ系)
祖母父シルバーレーン(欧ロベルト系)と言う配合馬。
半兄ステイフーリッシュはG2ハンターの異名を持つ馬。

ジャスタウェイ産駒の牡馬は、京都2000mで穴をあけまくりますが
牝馬は下級条件戦の上位人気馬がたまに走る程度の適性でございます。

前走のローズS3着は、展開と馬場に恵まれた
どさくさ紛れの棚ぼた入線と見ております。

秋華賞に最も不向きなサンデー系種牡馬は
Pサンデー系でもあり、ここは静観しておくつもりでおります。

・ミシシピテソーロ

父ダノンバラード(ディーブ系)の産駒は洋芝巧者が多く、
関西圏では皆目走らず、特に関東馬は全く走りません。

また、母父が米国型APインディ系であり、

血統の字面、実績共に評価できるポイントを見つけられませんでした。

・モリアーナ

父エピファネイア(欧ロベルト系)
母父ダイワメジャー(Pサンデー系)
祖母父グランドロジ(欧ダンチヒ系)
本馬は牝系ファミリーの出世頭でございますな。

牝系ファミリーは中山巧者の一族で、
距離適性は1200mから2600mまで幅が広いですな。

2000mに関しては、特に中山が得意で、
牝系ファミリー全体で稼いだ2000m戦の賞金の
53.9%は中山でのものがございます。

また、美浦所属の場合、関西圏への遠征競馬が苦手、
と言うより「超苦手」な一族でもあります。
※20回の遠征で、ジャンプで1勝、ダートで2着1回
※本馬もG1阪神JFで2人気12着に惨敗しておりました。

とは言え、差し追込みが決まりやすい
京都開催の秋華賞に、内回り2000mを追込んで
優勝した実績だけは評価すべきでございましょう。

重い印を回す予定はございませんが
馬券には入れるしかないと考えております。

・ラヴェル

父がキタサンブラック(Tサンデー系)で、
母父がダイワメジャー(Pサンデー系)の配合馬。
半姉ナミュール(父ハービンジャー)は、阪神開催の秋華賞2着馬。

ただ、サンデーサイレンスの3×3クロスは、
今のところ大成した馬が出ていない配合で、
上級条件戦では、芝1400m以下の短距離戦か
ダート中距離といった、米国的な持続力が生きる舞台が
好走条件となっております。

本馬のように、2歳秋の芝重賞で活躍するのも
米国型血統馬が見せる「超早熟傾向」と似ております。
もし、本馬もその超早熟パターンであれば、3歳秋以降は短距離路線か
ダート路線に転向した際に、穴で狙いたいパターンでございますな。

という事で、今回は見送りたいと思います。

・リバティア일랜드

評価を下げる根拠はございませぬ。
内回りコースなので、包まれて追出しが遅れるようなら
負ける可能性も考えられますが、ノーザンファーム運動会と
言っても過言ではないメンバー構成で、同系牧場生産馬の
3冠阻止を計る可能性は低いと見ております。

偶発的な不利や事故でもない限り
普通に回ってくれば3冠達成となりましょう。